

報 告

近畿病院図書室協議会 第138回研修会

研修部

日 時：2016年3月18日(金) 10:30~12:00
場 所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室
プログラム：

1. 病院図書室移転作業
八尾市立病院 谷口裕美子氏
2. 交流会・研修会・勉強会に参加して
神戸市立医療センター中央市民病院
中村さやか氏
玉田 亜依氏
屋良 記衣氏
3. 資料管理の見直しと有効活用に向けての取
り組み
明石市立市民病院 山本 温子氏
4. 県立図書館との取り組み
鳥取県立中央病院 中川かおり氏

参加者数：34名

1. 病院図書室移転作業
病院図書室の移転作業について報告された。図書室の総面積が縮小したため、収まりきらないものは廃棄を余儀なくされた。レイアウトについては細部を図書室担当者が希望を出した。必要なものが無くなってしまわないよう、レイアウトの確認は必ず行わなければならない。また狭い場所での引っ越し作業では、ワークスペースの確保が重要であると述べられた。
2. 交流会・研修会・勉強会に参加して
当協議会の主催する交流会・研修会・勉強会の自院での活用例について報告された。
業務中に出た問題や疑問について、交流会で

知った他館の運用や実態が参考になった。医中誌 Web や KITOcat の所蔵記録を更新したことにより、資料の検索がよりスムーズになったなどの例をあげられた。

3. 資料管理の見直しと有効活用に向けての取
り組み
蔵書管理ソフトの導入に至るまでの準備と、図書室の変化について報告された。

当初は台帳もほとんどなく受入資料のデータ管理もなされていなかったため、所蔵資料の把握が難しい状態だった。また、統一された受け入れや整理の基準がなく、担当者の異動時に引き継がれなかったことが問題だった。問題の解決策として蔵書管理ソフトを導入し、蔵書の登録や分類法に基づいた配架を進めた結果、書架が徐々に整理され、資料検索もできるようになったと述べられた。

4. 県立図書館との取り組み
当時の院長が図書館で講演会をしたことがきっかけとなり、県立図書館より患者医学情報サービスのために積極的に本を貸し出したなどの申し出があり連携が始まった。一般書、患者向け医学書、職員の研究資料の借り受け、県内図書館関係者向け講習会への参加など連携から生まれた取り組みもある。また、図書館にある医学専門書を医師が評価するという取り組みが成功すれば、よい患者サービスとなりうる。今後の課題として取り組んでいきたいと述べられた。
5. 最後に
どの報告も日々の業務の中で参考になるもの

だった。発表者の皆さまに感謝するとともに、今後の研修会も充実したものになるよう努めていきたい。

(文責：椎木淳美／元 京都桂病院)